

安孫子貞治郎 あひごのぢやう 昭和十一年十二月歿（一九三六）。筆名安孫子凡  
樂、安孫子武江、安孫子生、安孫子貞次郎等。松川鑛山勤務、内村鑑  
三の『東京獨り雑誌』編輯を経る。明治二十二年雑誌『東京評論』を  
創刊。

譯著書、チャールズ、エム、シエルドン（シー、エム、セルドン）作  
『女の心のあと』（譯、明治二十二年十一月二十一日教文館）、中入  
道子譯入』（合著・東京評論社）坂井義二郎編、明治二十四年五月十  
九日中庸堂書店）、ERNEST ADOLPHUS STUJGE THE SPIRIT OF JAPAN』  
（編、明治二十八年九月十二日有樂社）、コエスプランメント日本語辭書』  
（聖叔勝美 井編、明治二十九年十月）二十八年日本エスプランメント協會）  
等。

